

調査活動費

小計 410,880円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目 (○で囲む)	1 人件費	5 資料購入費	政務活動費 支出額(頁小計)	177,000 円
	2 調査活動費	6 広報費	備 考	
	3 研修・研究・会議費	7 通信運搬費		
	4 資料作成費	8 事務費		

No.00340

発行日:2015 年 8 月 6 日

株式会社 JTB 中部 金沢支店
〒920-0917
金沢市下堤町 30
TEL: 076-264-2272 FAX: 076-262-6156

出納責任者

取扱者:

経営管承認文書第 2015-047 号

領収証 RECEIPT

日本共産党町田市議団 様

下記の金額正に領収いたしました。



¥177,000※

但し

2015 年 7 月 25 日～7 月 27 日開催

第 57 回自治体学校 in 金沢

※ご参加費(佐々木智子様 14,000 円、殿村健一様 14,000 円、渡場悟視様 16,000 円、細野龍子様 14,000 円、池川友一様 11,000 円)として(ご利用日:7/25,26,27)

※として(ご利用日:)

※として(ご利用日:)

※ご宿泊代(佐々木智子様 24,000 円、殿村健一様 24,000 円、渡場悟視様 24,000 円、細野龍子様 24,000 円、池川友一様 12,000 円)として(ご宿泊日:7/25,26)

※として(ご宿泊日:)

※(ご入金日:2015/7/9)銀行振込にてご入金

紙 用 付 貼 等 書 収

項 目 (○で囲む)	1 人件費	5 資料購入費	政務活動費 支出額(頁小計)	143,740 円
	② 調査活動費	6 広報費	備 考	
	3 研修・研究・会議費	7 通信運搬費		
	4 資料作成費	8 事務費		

領 収 証

2015年 6月25日

日本共産党町田市議団 様

金57,280円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
町田801 No.000015

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

↑ 7/25 北陸新幹線 14320 x 4人

領 収 証

2015年 6月27日

日本共産党町田市議団 様

金85,920円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
町田802 No.000005

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

CASH SERVICE ご利用控

毎度ご利用いただきましてありがとうございます。 POKKACCO
どうぞお取引内容をお確かめください。 ©1999-2000 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL No.51101023

お取引内容	お取引日	お取扱店番	お取引番号
お支払	270709	0325	0049
金融機関番号	支店番号	口座番号	通帳
0597	0010		
お取引金額	お取引金額	手数料	
¥182,000		¥540	
時間	10:42	おつり	
電信扱い	三菱東京UFJ銀行	振込集中錦支店	普通 5598471
カ)ソビエタイービーチウフ 様	ニホンキョウサントウマチタビシ	キタツン 様	042-724-4030

↑ 池川分 7/26 行きの北陸新幹線代と
7/27 帰路 新幹線代 5人分代金
14320 + (14320 x 5人)

← 昼食代1000円 x 5人分を加えて
(計算) 振込金額はこれで
領収書金額はその分を差し引いて
あります。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

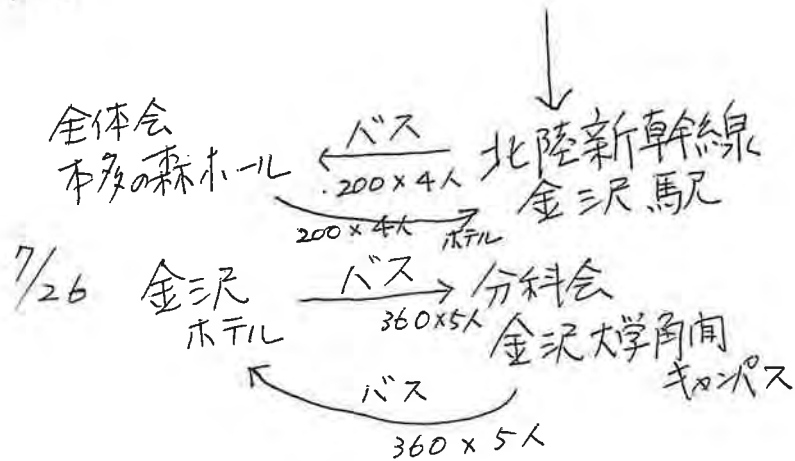
費	頁小計	円	備考	
---	-----	---	----	--

会派視察行程

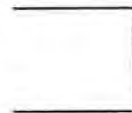
2015. 7. 25(土) ~ 27(月)

目的 自治体学校 in 金沢

7/25 町田(自宅) → 東京馬尼



7/27 ホテル (尾山神社) → 金沢馬尼 北陸新幹線
バス 200 x 5人
↓
各自宅 ← 東京馬尼



第9号様式（第10条関係）

支 払 証 明 書

金 額 10,494 円

上記の金額の支払をしたことを証明します。

2016 年 4 月 13 日

会 派 名 日本共産党
会派代表者 細野 龍彦

内 訳	会派視察（2015.7.25～27）金沢自治体学校
事 由	領収書の正しい電車・バス代 5人分
支 払 先 住 所 氏 名	小田急、営団地下鉄、東急田園都市線、金沢路線バス (北陸鉄道(株))

交通費支出記録簿(7 月分)

(会派名: 日本共産党会派視察)

月/日	区 分	区 間	金 額	目 的
7/25 (土)	① 鉄 道 2 バス 3 その他 ()	殿村・佐保 小田急 新宿 町田 370円	740円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
7/26 (日)	① 鉄 道 2 バス 3 その他 ()	池川 小田急 新宿 鶴川 340円	340円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
7/25 (土)	① 鉄 道 2 バス 3 その他 ()	渡場 橋本京王 新宿 相原 573円	573円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
7/25 (土)	① 鉄 道 2 バス 3 その他 ()	細野 町田丸の内線 南町田 ~ 東京	494円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
7/25 (土)	① 鉄 道 ② バス 3 その他 ()	金沢馬車 バス 本多森ホール 200円 X 4人 X 往復	1600円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
7/26 (日)	① 鉄 道 ② バス 3 その他 ()	金沢馬車 バス 金沢大学中央 360円 X 5人 X 往復	3600円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
7/27 (月)	① 鉄 道 ② バス 3 その他 ()	尾山神社 バス 金沢馬車 200円 X 5人	1000円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
7/27 (月)	① 鉄 道 2 バス 3 その他 ()	新宿 小田急 町田 370 X 2 (殿村・佐保)	740円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
7/27 (月)	① 鉄 道 2 バス 3 その他 ()	池川 小田急 鶴川 新宿 340	340円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
7/27 (月)	① 鉄 道 2 バス 3 その他 ()	渡場 京王 相原 新宿	573円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
7/27 (月)	① 鉄 道 2 バス 3 その他 ()	細野 町田丸の内線 東京 ~ 南町田	494円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
合計			10,494円	

参加費

研究所個人会員 14,000円／一般 16,000円
部分参加は、7/25 6,000円 7/26 7,000円
7/27 4,000円。
現地分科会②③④は、上記の参加費のほかに、バス代、入館料、
昼食代、(④は宿泊費含む)などの追加費用が必要です。
折込の参加申込書とは別に申込みが必要です。
詳しくは、自治体学校事務局まで現地分科会申込書をご請求くだ
さい。先着順に受け付けます。

参加費の割引

新規入会者割引 2日以上参加される方で、新規に自治体問題研
究所に入会される方は、受付で4,000円キャッシュバックします。
地元参加者の割引現地実行委員会をつくってご協力いただいて
いる地元石川県では、住民の方や町村議員(市議・県議は除く)を
対象に、割引がございます。
詳しくは、現地実行委員会
(076-240-7103、090-3885-1526)
までお問い合わせください。

昼食について

- 7月25日(土)の全体会場・本多の森ホール周辺は飲食店が少な
いので、昼食をすませてご来場ください。
- 7月26日(日)の金沢大学周辺は、飲食店がありません。
弁当をご持参いただくか、弁当(お茶付1000円)を
お申し込みください。▶ 申込書へ

第57回自治体学校実行委員会

〒162-8512 東京都新宿区矢来町123 矢来ビル4階 自治体問題研究所内
TEL:03-3235-5941 FAX:03-3235-5933

共催団体 自治体問題研究所／北海道地域自治体問題研究所／オホーツク地域自治体問題研究所／青森県地域自治体問題研究所／岩手地域総合研究所
／福島自治体問題研究所／茨城県自治体問題研究所／とちぎ地域自治体問題研究所／ぐんま住民自治研究所／埼玉自治体問題研究所／千葉県自治体問
題研究所／東京自治体問題研究所／多摩住民自治研究所／神奈川県自治体問題研究所／にいがた自治体問題研究所／富山県自治体問題研究所／いわき自
治体問題研究所／山梨地方自治研究所／長野県住民自治研究所／静岡県地方自治研究所／東海自治体問題研究所／滋賀自治体問題研究所／京都
自治体問題研究所／大阪自治体問題研究所／兵庫県自治体問題研究所／奈良自治体問題研究所／和歌山県地域自治体問題研究所／しまね地域自
治体問題研究所／岡山県自治体問題研究所／広島自治体問題研究所／徳島自治体問題研究所／香川県自治体問題研究所／愛媛県自治体問題研究所／高知
自治体問題研究所／福岡県自治体問題研究所／長崎県地域自治体問題研究所／くまもと地域自治体問題研究所／みやぎ住民自治研究所

会場へのアクセス

本多の森ホール
〒920-0935 金沢市石引4-17-1
TEL:076-222-0011
7/25●本多の森ホール
金沢駅東口(兼六園口)路線バス7番のりば
出羽町下車 徒歩5分 料金:200円
路線バス3-6番のりば 広坂・21世紀美術
館下車 徒歩10分 料金:200円
路線バス5番のりば JRまちバス 21世
紀美術館下車 徒歩10分 料金:100円
路線バス6番のりば 兼六園シャトルバス
成興閣下車 徒歩5分 料金:100円
同 小型タクシー料金:1300円程度
※広坂・21世紀美術館からは登り坂になります。

**金沢大学角間キャンパス・
総合教育講義棟**
〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL:076-264-5111代表
7/26●金沢大学角間キャンパス
金沢駅東口(兼六園口)路線バス6番のりば
から⑧⑨⑩で約40分 金沢大学中央下車
徒歩5分 料金:360円時刻●8:00 8:15
8:30 8:45(増便します)
同 小型タクシー料金:2700円程度
香林坊 路線バス約30分
金沢大学中央下車 料金:360円
時刻●8:30 8:45(増便します)

石川県文教会館・ホール
〒920-0918 石川県金沢市尾山町10-5
TEL:076-262-7311
7/27●石川県文教会館
金沢駅東口(兼六園口)
路線バス3-8-9-10番と6番のりばのほと
んど 南町・尾山神社下車 料金:200円
香林坊から徒歩10分

※小松空港▶金沢駅西口 連絡バスで
約60分(特急バス約40分)
料金:1130円



戦後70年、憲法が輝く ホンモノの地方自治を学ぶ みんなが先生 みんなが生徒

第57回 自治体学校 in 金沢

2015年 7月25日(土)▶27日(月)
金沢市 本多の森ホール・金沢大学・石川県文教会館

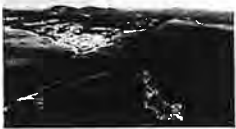
1日目 ● 全体会 7月25日(土)12:30~17:00

記念講演 地方自治の危機と再生への道—憲法と沖縄問題から考える

宮本憲一 (大阪市立大学 滋賀大学名誉教授/日本環境会議名誉理事長)



安倍内閣の政策は憲法を無視し、戦後民主主義=地方自治
を危機に陥れている。この状況を打開する道が沖縄県民と翁
長知事の抵抗に示されている。改めて戦後70年の地方自治の
歴史、特に自治研活動や革新自治体の教訓に学び、民主主義
再生の新しい道を語りたい。



主催●第57回自治体学校実行委員会

後援 石川県／石川県議会／金沢市／七尾市／小松市／羽咋市／かほく市／能美市／津幡町／内灘町／志賀町
／宝達志水町／中能登町／石川県市長会／石川県市議会議長会／石川県町長会／石川県町村議会議長会／朝日
新聞金沢総局／毎日新聞北陸総局／読売新聞北陸支社／産経新聞金沢支局／北陸中日新聞／北國新聞社／石
川テレビ／北陸放送／テレビ金沢／共同通信金沢支局／時事通信金沢支局

1日目 全体会

7月25日(土) 12:30～17:00
本多の森ホール

12:30～ 歓迎行事 浅野獅子舞

浅野の獅子頭は江戸時代から伝わるもので、地元のかくり名人大野弁吉の作と言い伝えられ、獅子舞は浅野神社のお祭りに奉納されてきたものです。数年前から保存会ができ、選ばれて金沢城公園の催しなどに披露されています。



13:00～ 開校あいさつ 学校長・八幡一秀

地元歓迎あいさつ 現地実行委員長・横山壽一

13:10～ 記念講演

地方自治の危機と再生への道— 憲法と沖縄問題から考える



宮本憲一(大阪市立大学・滋賀大学名誉教授/日本環境会議名誉理事長)
みやもと けんいち 1930年に台北市で生まれ、名古屋大学経済学部卒業、金沢大学法文学部助教授、大阪市立大学商学部教授、立命館大学政策科学部教授を経て、2000～2004年に滋賀大学学長を務め、現在、大阪市立大学名誉教授・滋賀大学名誉教授である。専門は、財政学・地域経済論・環境経済学など。元日本学術会議会員、日本財政学会・日本地方自治学会顧問、日本地方財政学会元理事長、自治体問題研究所元理事長、日本環境会議名誉理事長、『環境と公害』編集顧問など。

14:30～16:50 パネルディスカッション&リレートーク

戦後70年 築かれてきた平和と地方自治—その破壊を止めるために

コーディネーター 岡田知弘(京都大学)

パネラー 武田公子(金沢大学)

岡庭一雄(長野県岡村町村長)



地域経済の立場から岡田知弘氏、財政学の立場から武田公子氏、小さくても輝く自治体づくりにならずにきた岡庭一雄氏が、平成の合併や「自治体消滅」論、地方創生戦略を検証し、憲法を暮らしのなかにいかす地方自治のあり方と展望について語り合います。地方自治破壊に対して、住民共同で運動を展開する沖縄、大阪、地元石川の自治の現場からもご報告いただきます。

17:30～19:30 石川の酒と食を楽しむ会 本多の森会議室

会費 3000円/定員200人 (全体会場に隣接した建物内)

▶申込書の欄に〇をつけてお申込みください。

豊かな地下水で育まれた石川の酒と、歴史を感じさせる加賀野菜をふんだんに使ったお料理で皆様をお待ちしています。美しいチェロの調べを聴きながら、全国の皆さんとの交流をお楽しみください。各地の地酒の持ち込みも歓迎です。

2日目 分科会 金沢大学角間キャンパス・総合教育講義棟

7月26日(日) 9:30～16:00

●分科会

1●社会保障「解体」の現局面—医療・介護を中心に

助言者: 横山壽一(金沢大学)

社会保障・税一体改革の具体化のもとで、大規模な給付減・負担増が進み、社会保障は解体の危機にあります。成長戦略と一体となった社会保障「改革」の全体像と現局面を、医療・介護を中心に明らかにし、取り組みの課題と方向を探ります。

2●子どもの育ちを保障する

助言者: 浅井春夫(立教大学)

昨年8月、「子供の貧困対策に関する大綱について」が閣議決定され、我が国の子供の貧困の状況が先進国の中でも厳しいとされています。このような子どもの貧困問題について、色々な立場から、子どもの貧困をなくするには何が必要なのかを考えます。

3●原子力地域防災と再生可能エネルギー自立への道

助言者: 立石雅昭(新潟大学名誉教授)

事故後4年、福島原発は収束とは程遠い。本分科会では、今なお苦しみもがく現地自治体に学びながら、原発に対峙する立地並びに周辺自治体の役割を議論するとともに、再生可能エネルギーによる自立の課題と展望について語り合います。

4●水は憲法に保障された生存権

助言者: 穂積匡史(川崎水道住民訴訟代理人・弁護士)

今、国は水道の民営化とともに広域化、簡易水道の統合などを進め、良質な自己水源を放棄する自治体もあります。川崎ではそれに対し「自己水源を守れ」と住民による訴訟が起きている。浄水・水循環基本法の精神から「水は誰のもの?」を問いなおします。

5●非正規労働の拡大と官製ワーキングプアを考える

助言者: 黒田兼一(明治大学)

非正規労働が4割にのぼり、2000万人を超え、年収200万円未満の労働者は1000万人以上となりました。法律を守るべき自治体が「脱法行為」で多数の非正規職員を雇用しています。残業代ゼロ法案、労使紛争の金銭解決などの労働法制改悪。官製ワーキングプアは、住民サービスにどんな影響をもたらしのでしょうか。

6●国土政策と公共施設再編の中の自治体政策のあり方

助言者: 森 裕之(立命館大学)

アベノミクスによって地域間格差が拡大するなか、あらゆる国の制度が「地方創生」を中心に改正され、自治体でも対応が不可欠となっています。こうした潮流をおさえながら、地域自治体の自律的な発展のための政策について検討します。

7●地域循環型経済と地域づくり

助言者: 八幡一秀(中央大学)

「中小企業振興基本条例」の制定をはじめ、地域の中小企業(農漁業含む)を主役に、地域の資源を生かした地域循環型経済への転換の動きが各地でひろがっています。各地域や産業分野からの報告をもとに地域経済再生の展望について考えます。

8●災害頻発時代と防災・減災対策

助言者: 塩崎賢明(立命館大学)

東日本大震災復興の先行きはなお不透明です。この状況を打破するうえで、阪神・淡路大震災の20年の経験から何を学ぶべきか。また近い将来に予想される首都圏や西日本の大震災に向け、どのように備えるべきかを考えます。

9●平成の大大合併の検証と「地方創生」

助言者: 西村 茂(金沢大学)

いま、合併の検証を行うことが、今後の住民自治に展望を与えるのではないのでしょうか。合併した自治体、しなかった自治体、合併自治体の中心部、周辺部。合併前後の評価の変化。これらの比較から、各地の経験を交流します。

10●平和憲法と地方自治—戦後70年のいま基本から学び合う地方自治

助言者: 池上洋通(自治体問題研究所理事)

日本国憲法は、「国会」「内閣」「司法」と同じく「章」を立てて「地方自治」を定めました。中央と地方は対等です。沖縄と福島からの報告をまじえ、平和と基本的人権の実現を任務とする地方自治の本質と現実的な課題を、主催者市民の目から分かりやすく学び合います。

●講座

11●基礎講座A 地方自治と財政のしくみ

講師: 平岡和久(立命館大学)

財政を知らずして 住民自治は実現しません。本講座は、新しく地方議員になられた方や財政に強くなりたい自治体職員、市民団体の皆さんに、地方財政の仕組みを基本から解説し、自治体財政の分析方法についても事例を交えて紹介します。

12●基礎講座B 憲法・地方自治のしくみと議会活動

講師: 宮下和裕(福岡県自治体問題研究所)

憲法には、「第8章地方自治」が導入された。憲法3原理を支える土台としての地方自治、議会と住民の関係、間接民主主義と「半代表」、戦前・戦後の地方自治の歴史を通して獲得してきたもの、現在の課題と将来展望を語り合い、実践的な交流もこないます。

●現地分科会

21●世界農業遺産・能登の里山里海を活かす地域づくり

世界農業遺産に指定された能登の里山里海を活かした地域おこしを視察します。茶炭づくり・植林を通じた里山保全、廃止された「のど娘」の遺産活用、「限界集落」金蔵の取り組み、白米千枚田のオーナー制と伝統行事継承等の話を聞きます。

◆集合: 7月25日(土) 17:20(出発: 17:30)

集合場所: 全体会場・本多の森ホール駐車場

◆解散: 7月26日(日) 18:00

解散場所: 金沢駅(交通事情により延着あり)

◆追加費用: 19,000円(宿泊・夕食・朝食・昼食、バス代など)

◆定員: 36人

22●創造都市金沢の内発的発展を学ぶ

日本の創造都市としての評価が高い金沢の産業における内発的発展の特質を知り、地域産業の発展のあり方を学びます。環境関連機器製造業、醤油業、和菓子業(手作り体験を含む)、伝統工芸産業のレクチャーと施設見学のほか、オプションとして、歴史的町並み案内、加賀料理店での交流会を行います。

◆集合: 7月26日(日) 8:50(出発: 9:00)

集合場所: JR金沢駅金沢港口(西口)出口付近

◆解散: 同 16:30(町並み案内解散時間: 17:40)

解散場所: 兼六園下交差点(町並み案内解散場所: ひがし茶屋街)

◆追加費用: 4,500円(昼食、手作り体験、バス代など)

交流会費(オプション参加者のみ) 別途集金5,000円

◆定員: 35人

23●障がいのある人とともに生き生き・まちづくり

障害者権利条約が批准され、障がいのある人が普通に地域で暮らすことができる社会の構築が求められます。障がいのある人の外、様々な人達が寄り添い住む街「シェア金沢」やシタケ栽培で地域に根ざす事業所「ゆうの丘」等を見学後、金沢市障害者計画の報告があります。

◆集合: 7月26日(日) 8:30(出発: 8:40)

集合場所: 金沢駅金沢港口(西口)団体バス乗降場

◆解散: 7月26日 16:30(交通事情により延着あり)

解散場所: 金沢駅金沢港口団体バス乗降場

◆追加費用: 3,500円(昼食、バス代など)

◆定員: 35人

★ナイター企画★

①議員交流会—住民の願いに応える議会改革を

議論しあう議会、ひらかれた議会、首長をチェックできる議会…。住民の願いに応えるためどんな議会基本条例がよいのか、議会活動はどうあるべきかを考えます。

②「まち研」交流会—地域の今と将来を語り合いませんか

助言者: 平岡和久(立命館大学)

いま各自治体で地方創生の総合戦略づくりが行われています。地域にしっかり根ざし、住民、職員、議員、地元企業、研究者等の参加で「ホンモノ」の計画づくりをしていくこと大事です。「まち研」の出番です。大いに語り合しましょう。

③講座●日本語で学ぶ「韓国の地方自治」

講師: 具 滋仁(Gu.Jain(忠南発展研究院農村農家研究部責任研究員))

韓国の全羅北道に、全国からの視察が絶えない農村自治体・鎮安郡があります。報告者は、日本の大学で学位を得た後、その自治体に専門職の契約職員として入職。住民とともに疲弊した農村の発展を実現してきました。

④講座●共通番号制度のカラクリ

講師: 白石 孝(反住基ネット連絡会)

2015年中に個人と法人にそれぞれ固有の番号(マイナンバー)が交付され、2016年1月から利用が始まります。番号制度は、より公平な社会保障や税制の基盤として必要だと云います。しかし、それは本当でしょうか? その本質を学びます。

⑤自主交流会●住民の「生存権」を守るために

～住宅扶助・冬季加算の削減等に対する、各地の取り組みを学ぶ～

2012年の相対的貧困率は16.1%と過去最悪を更新しました。そのような中で、生活保護生活扶助費は2013年度から3年連続でカットされ、さらに追い打ちをかけるように本年7月以降は、住宅扶助や冬季加算の削減が行われています。住民の「生存権」を守るために、各地の取り組み等を交流し学び合いたいと思います。

⑥講座●国保の都道府県単位化とは何か

講師: 長友薫輝(三重短期大学)

都道府県単位化によって、医療費抑制の新たな段階に入ります。市町村だけでなく、都道府県が国保の運営に加わることでどうなっていくのか。自治体の政策課題のみならず、国保をめぐる運動の課題・方向性についても検討します。

3日目 全体会 7月27日(月) 9:30～11:45 石川県文教会館・ホール

特別講演●世界農業遺産「能登の里山里海」と地域再生—自治体と大学の連携による人材育成をとおして

中村浩二(金沢大学特任教授、里山里海プロジェクト代表)

「能登の里山里海」は、2011年に日本で初めて「世界農業遺産」に認定されましたが、能登半島の人口減少と高齢化はさらに厳しさを増しつつあります。能登の自治体と大学が、連携して取り組んできた人材育成による地域再生の取り組みを紹介します。

なかむら こうじ 1947年生まれ。京都大学農学部卒業、同大学院修士・博士課程修了。1977年より金沢大学に勤務。2013年金沢大学を定年退職し、名誉教授、特任教授に着任。農学博士(京都大学)、専門は生態学(鳥虫、里山、熱帯、生物多様性など)。国連大学などによる「日本の里山・里海評価」、国連食糧農業機関による世界農業遺産などに関与している。金沢大学「里山里海プロジェクト」代表、能登キャンパス構想推進協議会幹事長として、能登半島と石川県の里山里海の保全、総合活用、地域再生に取り組んでいる。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

調査活動費	頁小計	41,250 円	備考	41,250 円
-------	-----	----------	----	----------

請 求 明 細 書 STATEMENT

✳ SUNROUTE HOTEL CHAIN

ホテルサンルート熊谷駅前
HOTEL SUNROUTE KUMAGAYA STATION
〒360-0036 埼玉県熊谷市桜木町1-100
TEL 048-527-3610 FAX 048-527-3700

お部屋番号 お名前
ROOM No. NAME

609 日本共産党町田市議団 様

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2016/02/09	2016/02/10	5	2016/02/09	

日付 DATE	お部屋 ROOM No.	摘 要 DESCRIPTION	料 金 CHARGES	お預り金 CREDITS	残 高 BALANCE
02/09	609	現 金		41,250	
	609	一泊朝食付 8,250x 5	41,250		

総合計 TOTAL	料 金 CHARGES	お預り金 CREDITS	ご請求金額 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND
	41,250	41,250	0	

(内消費税 3,055)

ご署名
SIGNATURE

様

ご住所
ADDRESS

会社名
COMPANY NAME

様

T 007234801 2
PD 000000000

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you for your patronage. We look forward to serving you again.

領 収 証 RECEIPT

T 007234801 2
PD 000000000

発行日 2016年2月9日



日本共産党町田市議団

様

41,250 (内消費税 3,055) 円 也

上記の金額正に領収いたしました。-9-

✳ SUNROUTE HOTEL CHAIN

ホテルサンルート熊谷駅前
HOTEL SUNROUTE KUMAGAYA STATION
〒360-0036 埼玉県熊谷市桜木町1-100
TEL 048-527-3610 FAX 048-527-3700

領 収 書 等 貼 付 用 紙

費	頁小計	円	備考	
---	-----	---	----	--

目的

会派視察 2/9 ~ 2/10

荒川区役所 「子どもの貧困対策」

深谷市役所 「デマンド交通」

高崎市役所 「地域経済活性化
商店リフォーム補助」

2/9

野田 → 電車 → 日暮里 ^{区役所の送迎車} ← マイクロ → 荒川区役所

↓ 山手線
東京駅 → ^{越新幹線} 熊谷 _{行先指定 2360 x 5人分 会派負担} ホテル泊

2/10

↓ JR
深谷市役所 ← ^{送迎} 深谷 _{マイクロ}

↓ JR
高崎市役所 ← 徒歩 高崎
↓ 新幹線

野田 ← 東京駅

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目 (○で囲む)	1 人件費	5 資料購入費	政務活動費 支出額(頁小計)	33,350 円
	② 調査活動費	6 広報費	備考	
	3 研修・研究・会議費	7 通信運搬費		
	4 資料作成費	8 事務費		

領 収 証

2016年 2月 2日

日本共産党山形市議団 様

金45,150円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
町田801 No.000010

※ 2/9 上野 → 熊谷間 (64.7km) は 時間短縮のため、
上越新幹線をご利用のため、特急料金 $2360 \times 5人分$ は
政務活動費から支出しています。 (11,800,-)

2/9 都内 → 高崎間の運賃 $1940 \times 5人$

2/10 高崎 → 都内 (運賃 $1940 \times 5人$)
新幹線 ~~2780~~

※ 領収書は重ねて貼付しない。
※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

第9号様式（第10条関係）

支 払 証 明 書

金 額 5,046 円

上記の金額の支払をしたことを証明します。

2016 年 4 月 13 日

会 派 名 日本共産党

会派代表者 細野龍子 

内 訳	会派視察（3/9～10）交通費
事 由	領収書のできる電車代
支 払 先 住 所 氏 名	小田急、東急、営団地下鉄、JR

視察

交通費支出記録簿(2月分)

(会派名: 日本共産党)

月/日	区分	区間	金額	目的
2/9 (火)	① 鉄道 2 バス 3 その他	殿村 小田急 町田 ~ 日暮里	564 円	① 現地調査等 荒川区役所 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
2/9 (火)	① 鉄道 2 バス 3 その他	佐々木 小田急 町田 ~ 日暮里	564 円	① 現地調査等 " 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
2/9 (火)	① 鉄道 2 バス 3 その他	池川 小田急 鶴川 ~ 日暮里	534 円	① 現地調査等 " 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
2/9 (火)	① 鉄道 2 バス 3 その他	細野 田国府線 南町田 ~ 日暮里	493 円	① 現地調査等 " 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
2/9 (火)	① 鉄道 2 バス 3 その他	渡場 JR 相原 ~ 日暮里	767 円	① 現地調査等 " 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
2/10 (水)	① 鉄道 2 バス 3 その他	殿村 小田急 新宿 ~ 町田	370 円	① 現地調査等 高崎の帰り 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
2/10 (水)	① 鉄道 2 バス 3 その他	佐々木 小田急 新宿 ~ 町田	370 円	① 現地調査等 " 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
2/10 (水)	① 鉄道 2 バス 3 その他	池川 小田急 新宿 ~ 鶴川	340 円	① 現地調査等 " 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
2/10 (水)	① 鉄道 2 バス 3 その他	細野 国地下鉄 上野 ~ 南町田	494 円	① 現地調査等 " 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
2/10 (水)	① 鉄道 2 バス 3 その他	渡場 JR23区外 西荻窪 ~ 相原	550 円	① 現地調査等 " 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
/	① 鉄道 2 バス 3 その他	~	円	① 現地調査等 2 市民相談等 3 会議等 4 その他()
合計			5046 円	